

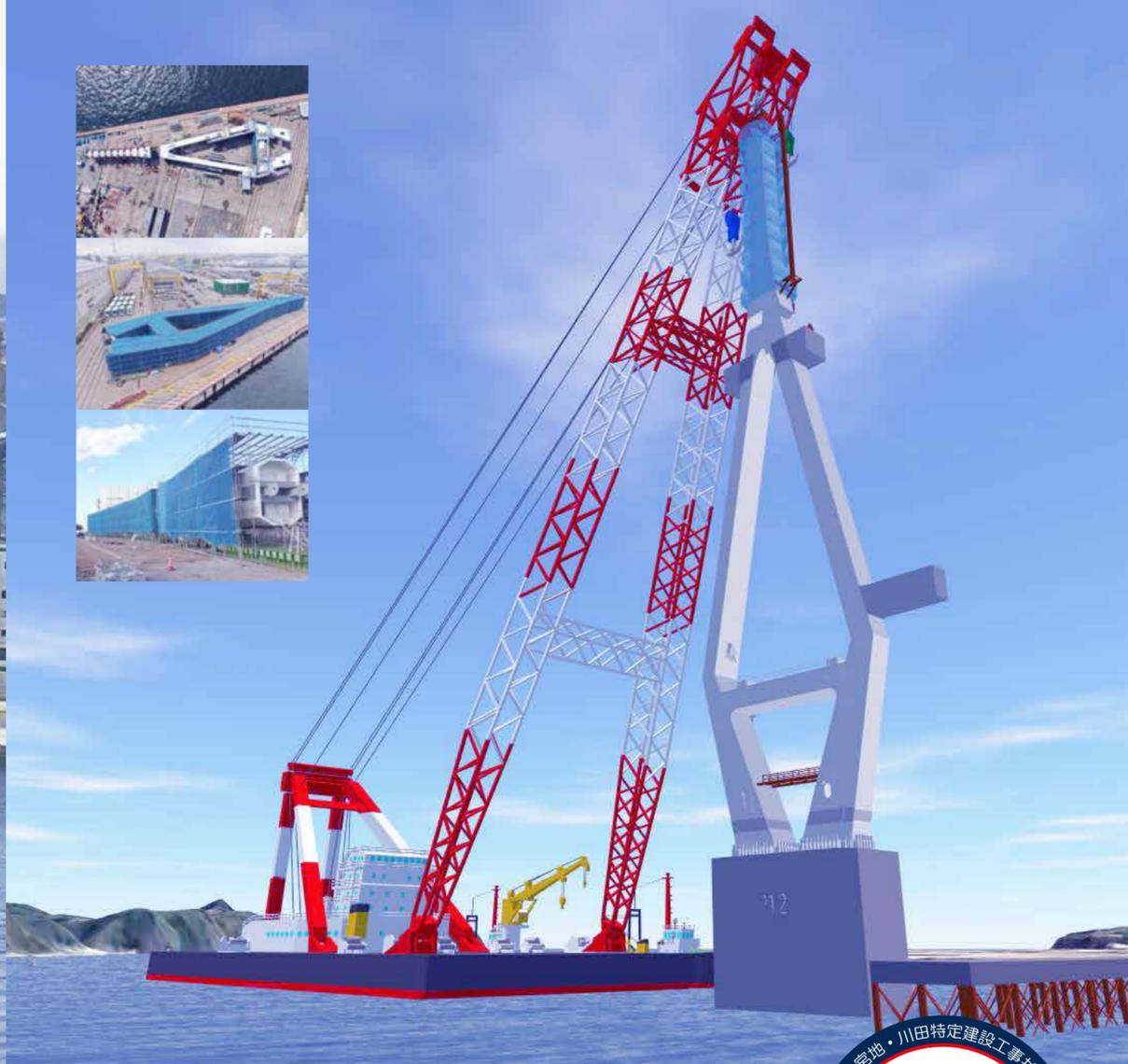


三陸沿岸道路をつなぐ橋

Sanriku expressway kesenuma Bay Bridge

国道45号気仙沼湾横断橋
小々汐地区上部工事
主塔大ブロック架設編

気仙沼湾横断橋(仮称)は、三陸沿岸道路が気仙沼湾を横断する所に架橋される、橋長680mの鋼3径間連続斜張橋です。主塔は海面からの高さ115m、主塔と主塔の間の長さ(支間長)は360mあり、国内でも有数の長大橋の一つです。2本ある主塔の内、A2橋台側の1本(P12)は気仙沼湾内に設置されており、その主塔とそれを挟んだ346mの主桁(中央の閉合桁を含む)を、小々汐地区上部工事としてMMB・宮地・川田JVが施工します。小々汐地区はその大部分が海上である為、主塔は大型起重機船による大ブロック架設工法により、主桁はバランス直下吊架設工法により、それぞれ施工を行います。中でも主塔の架設は、千葉県市原市の工場で大2つの大ブロックに地組した主塔を大型台船で運搬し、3,000t起重機船で吊上げて架設する、本橋架橋の最大の見せ場とも言えます。



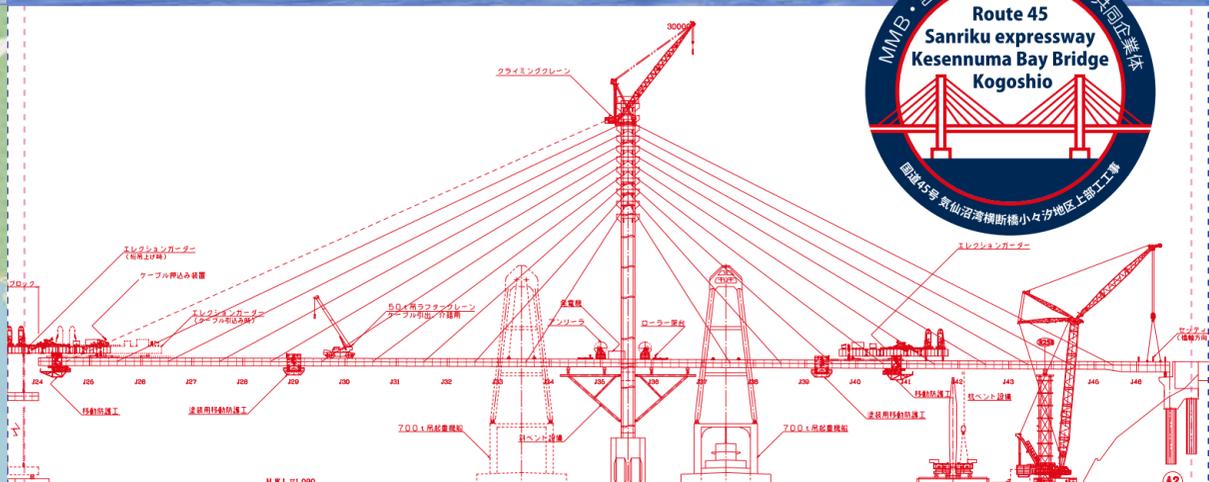
橋の概要
 路線名 三陸沿岸道路 / 三陸縦貫自動車道
 道路規格 第1種 第3級 (B活荷重)
 設計速度 V=80 km/h
 橋梁形式 3径間連続鋼斜張橋
 橋長 680m (小々汐地区:346m)
 支間長 157.8m + 360m + 157.8m
 総幅員 15.2m
 架設工法 (主塔) 大型起重機船による大ブロック架設
 (主桁) バランス直下吊架設

発注者	国土交通省 東北地方整備局
受注者	国道45号気仙沼湾横断橋小々汐地区上部工事 MMB・川田・宮地特定建設工事共同企業体
契約工期	2017年7月28日～2020年12月22日
工事場所	宮城県気仙沼市小々汐地内

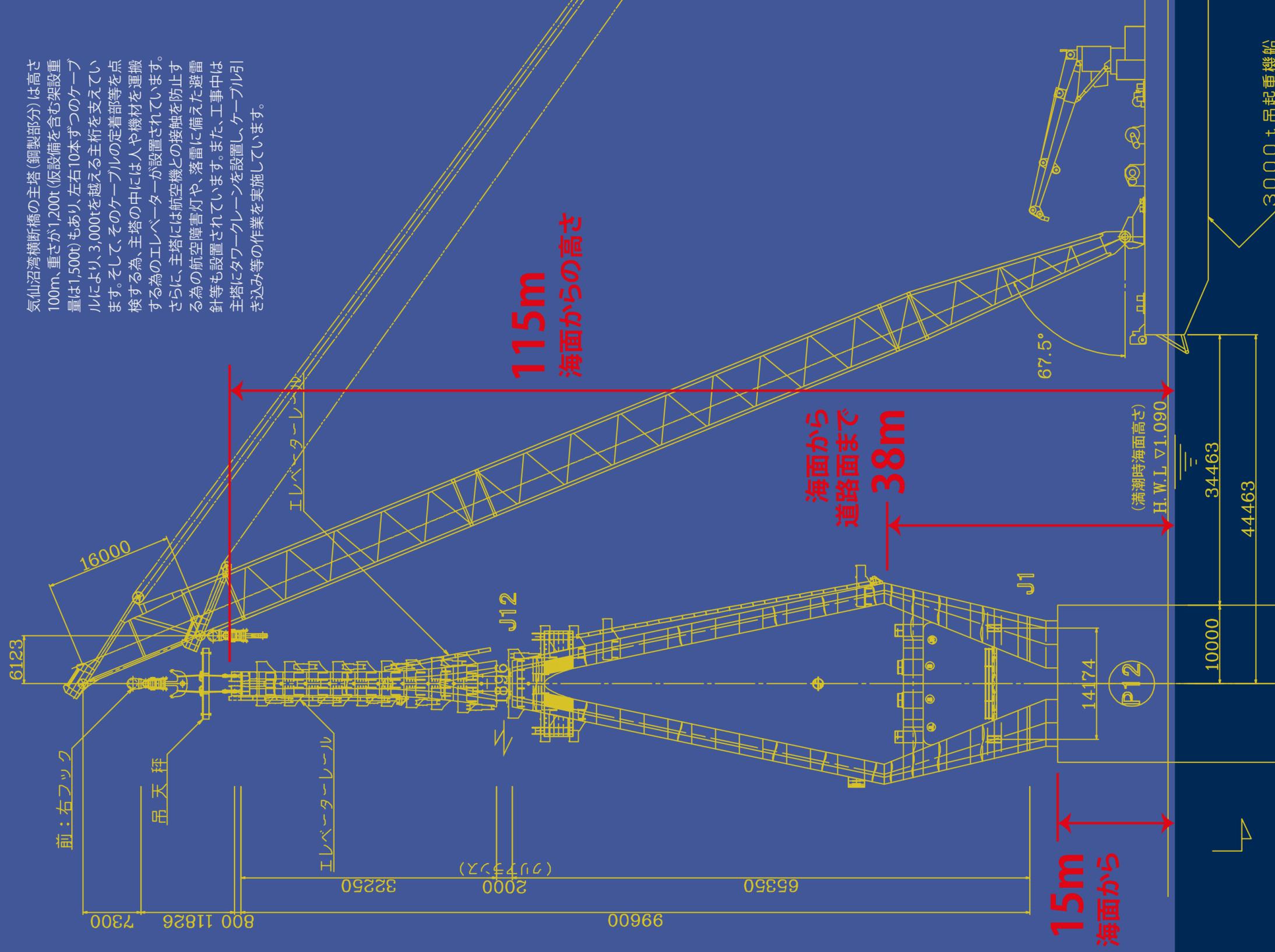


施工は大変な作業ですが『三陸沿岸道路をつなぐ橋』完成に向けて安全第一でがんばります!!

エム・エムブリッジ株式会社東北営業所
 宮地エンジニアリング株式会社仙台営業所
 川田工業株式会社東北事業所
 現場事務所
 気仙沼市弁天町2-50-2 〒988-0036
 TEL: 0226-48-5288
 発行日 2019年03月
 発行者 MMB・宮地・川田JV
 デザイン ノットデザインスタジオ



気仙沼湾横断橋の主塔（鋼製部分）は高さ100m、重さが1,200t（仮設備を含む架設重量は1,500t）もあり、左右10本ずつのケーブルにより、3,000tを越える主桁を支えています。そして、そのケーブルの定着部等を点検する為、主塔の中には人や機材を運搬する為のエレベーターが設置されています。さらに、主塔には航空機との接触を防止する為の航空障害灯や、落雷に備えた避雷針等も設置されています。また、工事中は主塔にタワークレーンを設置し、ケーブル引き込み等の作業を実施しています。



115m
海面からの高さ

海面から
道路面まで
38m

15m
海面から

